

第88回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年9月14日(火) 9:15~9:40	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、天津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、高橋庁舎建設等担当部長、梅原企画政策課長、宮奈地域安全課長、廣田広報秘書課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、穂山地域安全係長			
付議事項	1 ワクチン接種について 2 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等 ・緊急事態宣言の延長による市施設の対応について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大が続いており、緊急事態宣言は9月30日まで延長となった。危機的状況が続いているが、医師会等医療関係者と緊密に連携して対応していきたい。 ・40代以下の接種率の向上に取り組みたい。JCOMから関連グッズ千個の寄贈があった。これを今後行われる宮地楽器ホールでの10代、20代の接種者に配布していきたい。 ・ワクチン接種に係る勸奨ハガキの発送を予定している。大規模の事業のため、職員の支援をいただきたい。 ・平日夜間の時間での接種により、若い世代の接種率を向上し、集団免疫の獲得を目指したい。 ・3回目のブースター接種についても今後検討していかなければならない。2回目接種から8か月後に開始しているという海外での先行事例もある。医療従事者については年内、高齢者については来年2月以降に接種対象となり、ワクチン接種は重大な局面が続くと想定される。 ・自宅療養者の支援のため、東京都及び近隣6市の協働で調布に酸素ステーションを開設する。当施設については、抗体カクテル治療も実施予定である。 <p>1 ワクチン接種について</p> <p>(新型コロナウイルス感染症担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勸奨ハガキについては、文面に接種の有無等の個人情報が入らないよう配慮して作成した。当初目隠しシールを活用する予定であったが、シールの数量不足及びシール貼りに要する時間との兼ね合いで方針を変更した。今週末に職員の応援体制をお願いしたい。明日中には日程及び必要人員を案内する。 ・宮地楽器ホールでの接種予約状況は、9月22日が一番多く400名枠に168名の予約があった。金曜についても割合が多いところで、170名枠に91名の予約があった。 				

(教育長)

・市ホームページについて、接種していない方が接種しようと思えるような記事の作成をお願いしたい。

・勸奨ハガキの送付について、急な方針変更や人員要望が見受けられる。計画的な事務運営をお願いしたい。

(福祉保健部長)

・広報秘書課と調整の上、対応を図りたい。

2 各部連絡事項

(生涯学習部長)

・緊急事態宣言延長を踏まえた市施設の対応について、概ね現行の対応を延長することとした。

(学校教育部長)

・学校施設の目的外利用については、土日のみ17時まで利用可とした。

(総務部長)

・内部情報システムにて、職員の宣言延長に係る対応については周知済みである。

・職員の感染については、先日も一名確認されたところであり、引き続き感染予防を徹底していただきたい。

(福祉保健部長)

・自宅療養者の支援状況であるが、現在は支援物資をパッケージ化したものを依頼を受けた翌日午前中までに配達している。

・買い物支援については、現在先進市の事例を参考に事業構築の準備を進めているところである。対象店舗と協定を結び、金銭については利用者後払いで行っているとのことであり、50件程度の実績があるとのことであるが、貸し倒れは生じてないとのことであった。

(市長)

・第6波を想定し自宅療養者の支援について継続して行っていただきたい。

(企画政策課長)

・附属機関の運営について、WEB会議の開催など感染予防を徹底した上で行っていただきたい。

(総務部長)

・防災無線のアナウンス文言の一部変更したい。理事者一任でお願いしたい。

(副市長)

・新たに調布に設置される酸素ステーションを活用するとともに、ワクチン接種勸奨を軸として、感染対策、重症化予防に努めていただきたい。

(以上)